

学 校 名	学 年	教 科
四日市市立西陵中学校	第 2 学 年	国 語

1 学習のねらい等

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする力を育てます。 ○さまざまな材料をもとにして、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す力を育てます。 ○目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する力を育てます。 ○幅広い言語知識と確かな筆記力を身に付けさせます。 ○進んで読書をし、これを生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てます。
使用教材	教科書：『国語2』（光村図書），『新編 新しい書写 一・二・三年用』（東京書籍） 補助教材：国語の学習（明治図書），漢字の学習（明治図書）， すらすら基本文法（浜島書店），国語便覧（浜島書店）

2 評価の観点および方法

	評 価 の 観 点	評 価 の 方 法
①国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の用意を整え、積極的に学習活動に取り組める。 ・予習や課題に取り組み、提出物は期限を守って出せる。 ・ノートをわかりやすくまとめられる。 ・様々な分野の本に関心を持ち、進んで読書ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・課題の提出状況と内容 ・ノートやワークなどの作成状況 ・定期テストや評価テスト
②話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手のものの見方や考え方をしっかり聞き、自分の考えを広げたり深めたりできる。 ・自分の意見を、適切な声の大きさ、速さ、態度で相手に伝えられる。 ・文章の内容や特徴をとらえて、朗読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出状況と内容 ・ノートや課題プリントなどの作成状況 ・定期テストや評価テスト
③書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する自分の立場や、伝えたい事柄がはっきり書ける。 ・文章の内容が相手に効果的に伝わるよう、表現を工夫して書ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題や作品の提出状況と内容 ・ノートや課題プリントなどの作成状況 ・定期テストや評価テスト ・読書感想文
④読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、説明や描写などに注意して読むことができる。 ・文中の効果的な表現に注目し、自分の言葉遣いに役立っている。 ・文章の内容を理解し、人間、社会、自然などについて考え、自分の意見が持てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出状況と内容 ・ノートやワークなどの作成状況 ・定期テストや評価テスト
⑤言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きが正確にでき、言葉のきまりが理解できる。 ・意欲的に辞典を活用し、文中の語句の意味がわかる。 ・文字の書き方を工夫し、丁寧に速く書ける。 ・古文について、基本的な事柄が理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題や作品の提出状況と内容 ・定期テストや評価テスト ・漢字テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	<p>広がる学びへ</p> <p>詩 「見えないだけ」</p> <p>小説「アイズプラネット」</p> <p>練習「要点を整理して聞き取る」</p> <p>古文「枕草子」 「自分流の枕草子を創ろう」</p> <p>紹介「多様な方法で情報を集めよう」</p> <p>漢字「熟語の構成」</p> <p>多様な視点から</p> <p>説明文「生物が記録する科学」</p> <p>練習「説明の仕方を工夫する」</p> <p>発表「魅力的な提案をしよう」</p> <p>情報「メディアと上手に付き合うために」</p> <p>言語「対義語・類義語・多義語」</p> <p>言葉と向き合う</p> <p>短歌「新しい短歌のために」 「短歌を味わう」</p> <p>創作「言葉を比べよう」</p> <p>随筆「言葉の力」</p> <p>文法「単語をどう分ける？」</p> <p>書写（硬筆）</p>	<p>①好きな言葉や表現を見つけ、詩を味わう。また、作者の思いを考えて朗読することができる。</p> <p>①短歌の基礎知識を理解し、言葉遣いや調子を味わいながら親しむことができる。</p> <p>②目的や状況に応じ、要点や順序を押さえながら情報を聞き取ることができる。</p> <p>②古文を声に出して読み、言葉の響きや調子を楽しむことができる。また、平安時代と現代の生活や季節感を比較することができる。</p> <p>③登場人物の言動や心情を表す表現に気づき、心情の変化を読み取ることができる。また、作品を読んで、自分の考えを書くことができる。</p> <p>④文章の構成や、事実と考えの示し方に着目して、説明のしかたの特徴をとらえることができる。</p> <p>④文章を読み、メディアについて体験や知識と関連付けて自分の考えを持つことができる。</p> <p>④写真や図版などを利用して、内容を把握することができる。</p> <p>⑤対義語・類義語の意味や用法を理解できる。</p> <p>⑤自立語と付属語の意味・用法の違い、活用の有無について理解することができる。</p>
2 学期	<p>関わりの中で</p> <p>小説「盆土産」随筆「字のない葉書」</p> <p>練習「推敲して適切な文章に直す」</p> <p>手紙「気持ちを込めてかこう」</p> <p>論説「モアイは語る」言語「敬語」</p> <p>漢字「同じ訓・音を持つ漢字」</p> <p>いにしへの心を訪ねる</p> <p>古文「平家物語」「扇的」 「仁和寺にある法師」</p> <p>漢詩「漢詩の風景」</p> <p>論理を超えて</p> <p>評論「君は最後の晩餐を知っているか」</p> <p>練習「相手の考えを踏まえて発言する」</p> <p>討論「話し合って考えを広げよう」</p> <p>意見「根拠を明確にして意見を書こう」</p> <p>詩「落葉松」</p> <p>文法「走る。走らない。走ろうよ。」</p> <p>書写（毛筆）</p>	<p>①登場人物の人柄や思いをとらえ、作品を読み味わうことができる。</p> <p>①古文で描かれている内容と現代の生活などを比較することができる。</p> <p>②古文のリズムに慣れ、朗読することができる。</p> <p>②漢詩を読む際の基本的な決まりごとを理解し、読むことができる。</p> <p>②他の意見や考えを受け入れるための話し方ができる。</p> <p>③自分の意見が効果的に伝わるように、筋道を立てて文章を書くことができる。</p> <p>④言葉や表現に注意しながら、筆者のものの見方や考え方を読み取ることができる。</p> <p>⑤歴史的仮名遣い、助詞の省略、係り結びなど古文の特徴に慣れる。</p> <p>⑤動詞、形容詞、形容動詞について理解できる。</p> <p>⑤敬語の種類と使い方を理解することができる。</p> <p>⑤毛筆を使用して、行書の字形・文字の大きさに注意して書くことができる。</p>

3 学 期	表現を見つめて 小説「走れメロス」 文法「一字違いで大違い」 書く「表現のしかたを工夫して書こう」 言語「方言と共通語」 論説「科学はあなたの中にある」 漢字「送り仮名」 発表「一年間の学びを振り返ろう」 詩「鍵」 書写（毛筆）	①作品を読んで、描写や会話に注目しながら、登場人物の心情の変化を読み取り、主人公の生き方について考えを持つことができる。 ①自分の知識や体験と照らし合わせながら文章を読み、科学について考えを深めることができる。 ②互いの考えについて意見を述べたり、助言したりして、自分の考えを広げることができる。 ③気持ちを効果的に伝えるために文章の構成や語句の選択を工夫することができる。 ④文章中の事実や根拠に注意しながら筆者の見方や考え方を読み取ることができる。 ⑤付属語（助詞・助動詞）について理解できる。 ⑤方言と共通語について、特徴、使い分けを理解できる。 ⑤行書の特徴を理解しながら、漢字と仮名の調和に気を付けて書くことができる。
-------------	---	---

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に集中して取り組み、人の意見はしっかり聞き、自分の意見を進んで発表しよう。 ・ 板書をていねいにノートにまとめ、配られたプリント類をノートに貼るなどして、きちんと保管して見直しましょう。 ・ ・ 図書室を利用するとともに、朝の読書に落ち着いて取り組みましょう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書を繰り返し、音読しましょう。 ・ 『国語の学習』（ワーク）を利用して予習や復習を行い、問いに対する答え方のコツを掴みましょう。 ・ わからない漢字や語句は、こまめに辞典で調べましょう。 ・ 『漢字の学習』を利用し、漢字の予習や復習に取り組みましょう。 ・ 本や新聞などを積極的に読みましょう。

学 校 名	学 年	教 科
四日市市立西陵中学校	2 学 年	社 会

1 学習のねらい等

学習のねらい	<p><地理的分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な資料を選択，活用して地理的事象を多面的に考察し公正に判断する能力や態度を身につける。 ○人々の生活には地方的特殊性と一般的共通性があることを理解し，それらを成り立たせている地理的諸条件を考える。 ○自然および社会的条件と人々の生活の関係は人間の活動によって変化し，それに伴って地域も変容していることを理解する。 ○世界や日本の大小さまざまな地域は相互に関係しあっていることを理解する。 <p><歴史的分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高める。 ○資料を活用して多面的・多角的に考察し，公正に判断し，適切に表現する力や態度を身につける。 ○わが国の歴史の流れを大きくとらえ，各時代の特色をつかむようにする。 ○歴史上の人物，各時代の文化遺産などに関する学習を通して歴史を具体的に理解する。 ○わが国と諸外国の歴史や文化とのかかわりを考えたり，他民族の文化，生活などに関心を持ったりすることなどにより，国際協調の精神を身につける。
使用教材	<p>教科書『社会科 中学生の地理』（帝国書院），『新しい社会 歴史』（東京書籍）</p> <p>地図帳『新編 中学校社会科地図』（帝国書院）</p> <p>補助教材：資料集『アクティブ地理』（浜島書店），『学び考える歴史』（浜島書店）</p> <p>問題集『学習整理 地理2』（学宝社），『学習整理 歴史2・3』（学宝社）</p>

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①社会的事象への関心・意欲・態度	地理的・歴史的事象に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，広い視野に立ってわが国の国土の特色や文化について認識を養おうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の学習活動への取り組み状況 ・課題や自由研究等の取り組み状況 ・ノートやワーク等の取り組み状況 ・定期テスト
②社会的な思考・判断・表現	地理的事象から課題を見だし，日本の地域的特色を多面的・多角的に考察し，公正に判断する。 歴史的事象から課題を見だし，歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察し，公正に判断する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での発言 ・課題や自由研究等の取り組み状況 ・ノートやワーク等の取り組み状況 ・定期テスト
③資料活用の技能	地図や統計など地域に関する資料や年表・歴史地図などの資料を収集し，有用な情報を適切に選択して活用するとともに，報告書などにまとめたり，発表や討論などを行ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での発言 ・課題や自由研究等の取り組み状況 ・ノートやワーク等の取り組み状況 ・定期テスト
④社会的事象についての知識・理解	日本の地域構成，地域の規模に応じてとらえた地域的特色，世界と比べてみた日本の地域的特色などを理解し，その知識を身につけている。 歴史の大きな流れと各時代の特色などを世界の歴史を背景に理解し，その知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での発言 ・定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	<p><地理的分野></p> <p>第2部 日本のさまざまな地域</p> <p>1章 日本の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の中での日本の位置 ・時差でとらえる日本の位置 ・日本の範囲 ・都道府県と地域区分 ・さまざまな地域区分と略地図 	<ol style="list-style-type: none"> ①日本の国土の位置，都道府県の位置と名称を，地図を活用して意欲的に説明しようとする。 ②日本の地域を区分する要素を分析し，日本の地域構成を考える ③おもな島々の位置関係，都道府県の位置がわかる程度の略地図を書くことができる。 ④都道府県の位置と名称，日本の地域区分を理解し，その知識を身につける。
1 学期	<p>2章 世界と比べた日本の地域的特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の特色 ・人口の特色 ・資源や産業の特色 ・地域間の結びつきの特色 <p>3章 日本の諸地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域を学ぶにあたって ・九州地方 ・中国・四国地方 ・近畿地方 	<ol style="list-style-type: none"> ①世界的視野と日本全体の視野に立って，さまざまな面から日本の国土の特色を意欲的にとらえようとする。 ②世界的視野と日本全体の視野に立って，日本の国土の特色を地域間と比較し関連づける視点や方法を考察する。 ③地図や統計その他の資料を収集し，さまざまな面から日本の国土の特色をとらえるための有用な情報を適切に選択して活用する。 ④世界的視野と日本全体の視野に立って，さまざまな面からとらえた日本の国土の特色を理解する。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方 	<ol style="list-style-type: none"> ① 地方の地理的事象を，意欲的に調べようとする。 ② 地方の地理的事象を，多面的・多角的に考察する。 ③ 地方の地理的事象を，地図や統計資料等を用いて，説明する。 ④各地方の地理的事象に対して，比較や関連の視点から追及する方法を理解する。
2 学期	<p><歴史的分野></p> <p>第4章 近世の日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の成立と鎖国 ・産業の発達と幕府政治の動き 	<ol style="list-style-type: none"> ①近世の歴史的事象について，意欲的に学習する。 ②近世の歴史的事象について，多面的・多角的に考察する。 ③諸資料を多面的・多角的に考察し，自説の根拠として利用する。 ④近世の歴史的事象を多面的・多角的に理解する。
3 学期	<p>第5章 開国と近代日本の歩み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米の進出と日本の開国 ・明治維新 ・日清・日露戦争と近代産業 	<ol style="list-style-type: none"> ①日本の開国から近代化まで，その背景を意欲的に学習しようとする。 ②日本の開国から近代化まで，世界の歴史を背景に多面的・多角的に考察する。 ③日本の開国から近代化まで，その背景について資料を用いて説明する。 ④日本の開国から近代化まで，大まかな流れとその背景について理解する。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は教科書、ノート、資料集を開け、先生の話を中心に集中して聞こう。 ・黒板に書いたことや自分で気づいたことなどをノートに工夫してまとめよう。 ・授業には積極的に参加し進んで発表しよう。 ・疑問があれば、先生に質問しよう。 ・ノート、ワークなどの提出物は期日を守ろう。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・予習として、教科書を読んでおこう。 ・授業のあった日に、必ず復習するようにしよう。（読むだけでなく、きちんと書いて覚えよう。） ・自主的にノートをつくり、自分で工夫して整理しよう。 ・授業で習ったところはワークで何度も確認しよう。 ・興味のあるできごとや地域を自主的に調べてみよう。 ・毎日、新聞、テレビなどのニュース（政治・経済・文化）に興味をもとう。

学 校 名	学 年	教 科
四日市市立西陵中学校	2 学 年	数 学

1 学習のねらい等

学習のねらい	<p>○文字を用いた式について，目的に応じて計算したり変形したりできるようになるとともに，連立二元一次方程式について理解し，それを用いることができるようになる。</p> <p>○具体的な事象を調べることを通して一次関数について理解し，関数関係を見出し表現・考察する力を養おう。</p> <p>○基本的な平面図形の性質について理解を深めるとともに，数学的な推論の意義と方法を理解し，推論の過程を的確に表現できるようになる。</p> <p>○具体的な事象についての観察や実験を通して，確率の考え方の基礎を身につけよう。</p>
使用教材	<p>教科書：「未来へひろがる数学2」（啓林館）</p> <p>問題集：「完成問題集2年」（三泗中学校数学研究会）</p> <p>「数学の問題ノート」（新学社）</p> <p>「基礎からのパワーアップシート」（新学社）</p>

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①数学への 関心・意欲・ 態度	<p>数学的な事象に関心をもつとともに，数学的活動の楽しさ，数学的な見方や考え方のよさを知り，それらを事象の考察に進んで活用しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の学習活動への取り組み状況 問題集や学校の配布プリントへの取り組み状況 学校配布教材などの取り組み量
②数学的な 見方や 考え方	<p>数学的活動を通して，数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的にとらえ，論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り考えを深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> プリントやノート等への記述内容 定期テストや小テスト、単元テスト 問題集での誤答分析 操作活動等の中での考察内容
③数学的な 技能	<p>事象を数量，図形などで数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストや小テスト、単元テスト
④数量や図形 などについて の知識・理解	<p>量，図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し，知識を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストや小テスト、単元テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 期	<p>1章 式の計算</p> <p>§1 式の計算</p> <p>§2 文字式の利用</p>	<p>① 数量の関係や数の性質を，文字式を使って明らかにしていこうとする。</p> <p>② 数量の関係や数の性質を，文字を用いた式に表して考察することができる。</p> <p>③ 簡単な多項式の加法，減法や単項式どうしの乗法，除法の計算ができる。</p> <p>④ 単項式，多項式，同類項等の用語の意味を説明できる。</p>

2 学 期	2章 連立方程式 § 1 連立方程式 § 2 連立方程式の利用	① 連立方程式を利用して、問題を解決しようとする。 ② 課題から連立方程式を導き、その解の意味を考察することができる。 ③ 加減法や代入法によって、連立方程式を解くことができる。 ④ 消去する、加減法、代入法の意味を理解している。
	3章 一次関数 § 1 一次関数とグラフ § 2 一次関数と方程式 § 3 一次関数の利用	① 身のまわりの事象の中から、関数や一次関数とみられるものを見つけようとする。 ② 1年で学習した比例の関係は、一次関数の特別な場合であるとみることができる。 ③ 一次関数のグラフをかくことができる。 ④ 一次関数のグラフの傾きと切片の意味やグラフの特徴などを理解している。
	4章 図形の調べ方 § 1 平行と合同 § 2 証明	① 2つの三角形がどんな場合に合同になるかを考えようとする。 ② 「対頂角は等しい」などを、筋道をたてて説明することができる。 ③ 三角形の内角や外角、多角形の内角の和・外角の和などを求めることができる。 ④ 合同な図形の性質や三角形の合同条件について理解している。
	5章 図形の性質と証明 § 1 三角形 § 2 四角形	① 平行四辺形の性質を見つけようとしたり、それを証明したりしようとする。 ② 平行四辺形の定義から、三角形の合同条件などを用いて、平行四辺形の性質を導くことができる。 ③ 平行線と面積の関係を用いて、面積が等しい三角形を見つけることができる。 ④ 定義、定理、逆等の意味を理解している。
	6章 確率 § 1 確率の意味 § 2 確率の求め方	① 起こり得る場合を順序よく整理しようとする。 ② もれや重なりなく数え上げるのに、樹形図や表などを用いるよさに気づく。 ③ 同様に確からしいといえる場合について、確率を求めることができる。 ④ 同様に確からしい、確率の求め方、確率の範囲について理解している。

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	<p>★先生の話したことで大事だと思ったことは、必ずノートにメモを残しておこう。</p> <p>★課題等には積極的にチャレンジし、1つでも多くの事象について考えていこう。</p> <p>★用語は1つ1つ意味を確実に覚えていこう。</p> <p>★「何故だろう」という気持ちを大切にしながら、取り組んでいこう。</p>
	家 庭	<p>★宿題は必ずやるのはもちろん、その日の授業内容を問題集等で振り返っていこう。数学は何より復習が大事。毎日コツコツとした努力で力をつけよう。</p> <p>★問題集等での答え合わせで、間違いに対する原因をしっかりと確かめ、次回には正答になるようにしっかりと解きなおしをしていこう。</p>

学 校 名	学 年	教 科
四日市市立西陵中学校	第2学年	理 科

1 学習のねらい等

学習のねらい	<p>○自然の事物や現象に興味・関心をもって進んでかかわり，疑問をもって意欲的に探求しましょう。</p> <p>○目的意識をもって観察や実験などを行い，観察・実験の技能を身につけ，観察，実験の結果を分析して解釈し表現する能力を身につけましょう。</p> <p>○自然の事物や現象について理解を深めて，科学的に説明できるようにしましょう。</p> <p>○自然の事物や現象に対する科学的な見方や考え方を身につけましょう。</p>
使用教材	<p>教科書：『未来へひろがるサイエンス2』，『未来へひろがるサイエンス2マイノート』（啓林館）</p> <p>補助教材：ノート「理科ノート2年」（正進社） ワーク『教科書の確認2年』（創育・吉野教育図書）</p>

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
① 自然事象への関心・意欲・態度	自然の事物・現象に進んでかかわり，それらを科学的に探究するとともに，事象を人間生活とのかかわりでみようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の学習活動への取り組み状況 ・課題（授業プリントや夏休みの課題など）の取り組み状況 ・ノートやワーク等の取り組み状況 ・定期テストや小テスト
② 科学的な思考・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし，目的意識をもって観察，実験などを行い，事象や結果を分析して解釈し，表現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題（授業プリントや夏休みの課題など）の考察などの記述 ・定期テストや小テスト
③ 観察・実験の技能	観察，実験を行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の実験・観察の操作 ・課題（授業プリントや夏休みの課題など）の記録 ・パフォーマンス（実技）テスト ・定期テストや小テスト
④ 自然事象についての知識・理解	自然の事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題（授業プリントや夏休みの課題など）の記述 ・定期テストや小テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 期	第1学年の復習	三重スタディチェック
	[物質] 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 物質を表す記号 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量	①身のまわりの化学変化に興味・関心を示し、進んで学習している。 ②化学変化について、原子や分子のモデルと関連づけて考えることができる。 ③化学変化の基礎的な実験操作を身につけるとともに、生成した物質を調べることができる。 ④化学変化における物質の変化やその量的な関係について理解し、それらの事物・事象を原子や分子の概念を使って説明できる。
2 学 期	[生命] 動物の生活と生物の進化 1章 生物の体と細胞 2章 生命を維持するはたらき 3章 感覚と運動のしくみ 4章 動物のなかま 5章 生物の移り変わりとう進化	①生物の細胞のつくり、動物の体のつくりやはたらき、動物の生活と種類に興味をもち、進んで学習している。 ②せきつい動物の体のつくりやふえ方などの特徴を、その動物の生活のしかたと関連付けて考えることができる。 ③顕微鏡を用いて観察しやすい細胞をさがし、正確にスケッチすることができる。 ④消化や呼吸、血液の循環などの体のしくみについて理解し、それぞれを関連づけて説明できる。
	[エネルギー] 電流の性質とその利用 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界	①電流の性質や正体、電流のはたらきに興味をもち、進んで学習している。 ②実験の結果から、回路を流れる電流や加わる電圧についての規則性を見いだすことができる。 ③電流計や電圧計などの器具を正しく使い、回路の電流や電圧を測定することができる。 ④電流や電圧の規則性、電流と電圧の関係、電流のはたらきについて理解し、説明することができる。
3 学 期	[地球] 地球の大気と天気の変化 1章 空気中の水の変化 2章 天気の変化と大気の動き 3章 大気の動きと日本の四季	①天気の変化と日本の四季の天気や、それらと人間生活の関わりに興味をもち、進んで学習している。 ②気象要素の変化などから、天気の変化がおこるしくみや規則性を見いだすことができる。 ③気象観測の方法や記録の仕方などを身につける。 ④高気圧、低気圧、前線などについて理解し、それに伴う天気や気象要素の変化を説明することができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法

- 1 授業の学習内容で興味や関心のあることは、教科書や資料集などで調べてみましょう。
→ 疑問や知りたいと思ったことは授業でどんどん質問しましょう。
- 2 **授業**は真剣に、集中して、積極的に取り組みましょう。
特に、観察や実験は学校でしかできなかつたり、やり直す時間がなかつたりするので、大切にしましょう。
- 3 **復習**は、簡単でもよいのでその日のうちに行い、授業の内容を思い出しながら、教科書や授業プリントなどをもう一度見直しましょう。
(記憶が鮮明なその日のうちに復習すれば、短時間でできます。)
- 4 ワークで問題を解いてみましょう。わからないときは解説を読んで、再び挑戦です。
(「わかる」から、知識を使って「できる」まで高めましょう。また、答えが合っているだけでなく、「考え方」まで正しく自分で説明できるようにしましょう。)
- 5 直接目で見ることでできない部分の学習が増えてきます。自分でまとめ用ノートを作ったりして、図や表を使って理解を深めることも大切です。

◎理科の学習(科学)は、身の回りのいろいろなものや現象に深く関わっています。学習したことを身の回りのものや現象に関連させて考える習慣をつけましょう。また、世の中の様々な場面で科学の成果が生かされています。生活するにも、仕事をするにも、科学と無関係ではありません。仕組みを理解して、普段の生活で科学を上手に使っていくことが大切です。

学 校 名	学 年	教 科
四日市市立西陵中学校	2 学 年	音 楽

1 学習のねらい等

学習のねらい	<p>○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。</p> <p>○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。</p> <p>○多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。</p>
使用教材	<p>教科書：『中学生の音楽2・3 上 下』『中学生の器楽』（教育芸術社）</p> <p>補助教材：合唱曲集『コーラスフェスティバル』（正進社） 鑑賞用プリント</p>

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①音楽への関心・意欲・態度	音楽に親しみ進んで音楽を表現し、鑑賞の学習に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントや課題等の提出状況や内容 ・活動中の様子 ・実技テスト（歌唱、器楽） ・定期テスト
②音楽表現の創意工夫	<p>感性や想像力を働かせて、音楽をより美しいものにしようと曲想やイメージをふくらませることができる。</p> <p>歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができる。</p> <p>声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト（歌唱、器楽） ・プリントや課題等の内容 ・活動中の様子
③音楽表現の技能	<p>歌唱の音程が正確である。</p> <p>アクセントやリズム、強弱やテンポを適切に演奏に活かすことができる。</p> <p>楽曲に表記されている用語や記号などについて理解できている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト（歌唱、器楽） ・活動中の様子 ・定期テスト
④鑑賞の能力	<p>作品の構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。</p> <p>我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して鑑賞することができる。</p> <p>範唱や演奏、仲間の演奏や発表を熱心に聴いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・プリントや課題等の内容 ・活動中の様子

3 学習計画

各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
------------	-----------

1 学 期	○拍の流れにのって合唱しよう 「夢の世界を」 「大切なもの」 「つばさをください」 ○確認しよう 「RHYTHM」 ○旋律が追いかけるように重なり 合っていくおもしろさを味わおう 「フーガ ト短調」 ○いろいろな合唱曲を鑑賞しよう	(全学期共通) ① ・毎回の授業に意欲的に取り組む。 ・よい姿勢で歌や演奏に取り組む。 ・授業中に意欲的に発言する。 ・意欲的にパート練習に取り組む。 ② ・歌詞の内容やリズム、曲の構成などの要素を聴き取り、それらの働きが生み出す曲の雰囲気を感じ取りながら、どのように表現するか工夫している。 ・歌唱の発声がやわらかく響きがある。 ・歌唱活動において、表現豊かに演奏できる。 ・言葉のつながりやフレーズを感じて演奏できる。 ・姿勢・口の形などに気を付けて歌う。
	○合唱コンクールの取り組み 全校合唱「マイ バラード」 課題曲「(未定)」 自由曲「(未定)」 ○曲の構成に注目して曲想の変化 を味わおう 「交響曲第5番ハ短調」 ○世界各地の歌に触れ、そのよさ を味わおう	③ ・アクセントやリズム、強弱やテンポなど楽譜の表記通りに演奏できる。 ・正しい音程で歌う、言葉の区切りや意味を考えて歌うなどの基礎的な技能を身に付けて歌う。 ・曲種に応じた発声により、言葉を大切にしながら表現する。 ・明瞭な発音ができる。 ・楽曲に出てくる用語や記号などについて理解できる。 ④ ・鑑賞中の態度が適切で集中できる。 ・地域や楽器の特徴、音楽の多様性に関心を持ち鑑賞する学習に意欲的に取り組む。 ・鑑賞曲を聴き、作曲者の意図、心情を感じ取ったり、情景をイメージしたりしながら聴く。 ・自分のパートではない部分に耳を傾け、自分のパートのバランスを考え演奏に活かすように聴くことができる。 ・テストにおいて、作曲者についての詳細や楽曲の歴史的背景をしっかりと理解できる。
	○日本の伝統芸能に親しみ、その よさを味わおう 「勸進帳」から ○楽器を知ろう ギター「大きな古時計」 ○想いを歌に託そう (合唱) 「(未定)」	

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	○ チャイムが鳴る前に教室を移動し、所定の座席に座りましょう。 ○ みんなで協力してパート練習や活動を行いましょう。 ○ 鑑賞態度に気を付け、マナーを守って落ち着いて取り組みましょう。
	家 庭	○ いろいろな音楽に興味を持とう。 ジャンルにとらわれずいろいろな音楽を聴いたり見たりしましょう。 ○ 合唱をつくりあげる過程では、授業以外でも歌って練習しましょう。

学 校 名	学 年	教 科
四日市市立西陵中学校	2 学 年	美 術

1 学習のねらい等

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。 ○ 対象を深く見詰め感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・構想的な見方や考え方培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力をのばす。 ○ 造形、美術作品や文化遺産などについての基礎的な理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。
使用教材	教科書『美術2・3上 学びの深まり』『美術2・3下 美の探求』（日本文教出版） 資料集『感じる表す 美術』（浜島書店）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①美術への 関心・意欲・ 態度	主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術に関心を持っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・授業への取り組み <li style="width: 50%;">・提出物 <li style="width: 50%;">・授業の準備物 <li style="width: 50%;">・定期テスト <li style="width: 50%;">・ワークシート <li style="width: 50%;">・振り返りシート
②発想や構想 の能力	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、形や色彩などの効果を生かし、心豊かで創造的な表現の構想をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、アイデアスケッチ ・定期テスト
③創造的な技 能	表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す。	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・制作過程 <li style="width: 50%;">・ワークシート <li style="width: 50%;">・完成作品 <li style="width: 50%;">・定期テスト
④鑑賞の能力	美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさを感じ取り味わったり、理解を深めたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・相互鑑賞 <li style="width: 50%;">・自己評価シート <li style="width: 50%;">・ワークシート <li style="width: 50%;">・定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
2 学 年 1 学 期	【オリエンテーション】 ・ 授業の進め方について	①美術の表現の広さや面白さを知り、自分の制作意図や意欲につないでいる。
	【デザイン】 ・ 文字絵 【作品鑑賞】 【デザイン】 ・ モダンテクニック	① 文字を使って伝達性のあるデザインを考えようとする ことができる。 ② ユーモアや遊び心のあるアイデアを考えようとする ことができる。 ① 目的に合った配色の工夫をし、きれいに彩色しよう とする。 ② 作品の意図を感じ取り、鑑賞しようとする ことができる。 ① 多様な表現方法を知ろうと することができる。 ② 抽象的な表現の面白さを体感 しようとする ことができる。 ③抽象作品の鑑賞から、これまでと 違った鑑賞のし方を学ぼう とすることができる。

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
2学年 2学期	【デッサン】 ・鉛筆デッサン 【鑑賞】 ・芸術家の作品鑑賞 【工芸】 ・寄せ木の箱作り	① 基本的な鉛筆の調子の幅による表現を通して、ものの質感を出すように工夫することができる。 ① 自分の感性や想像力を働かせて、作品のよさや美しさ、作者の意図を感じ取ろうとしている。 ② さまざまな美術作品、美術文化や文化遺産などを鑑賞し、その特質や相違と共通性に気づき、美術文化とそれを通じた国際理解を深めようとしている。 ① 工芸品の用途や形の美しさに気づき、手づくりの良さを感じ取ろうとしている。
2学年 3学期	【作品鑑賞会】	② 木という素材の特徴を理解し、制作に生かすことができる。 ③ 制作の見通しを持ち、計画的に取り組むことができる。 ④ やすりがけ、ワックスがけの方法を身につけ、木のよさを生かして仕上げることができる。 ① 友だちと自分のそれぞれの作品のよいところを発見し認め合うことができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は教科書・資料集・ファイル(3点セット)やそのときに指示された準備物(絵具セットや鉛筆セットなど)を用意して、先生の話をよく聞こう。 ・絵画・立体・デザインの創作では、習得した技術を活かし自分の想いや考えを表現しよう。アイデアスケッチや資料集めも意欲的に取り組もう。 ・自分の想いを表現していくために、制作中は集中して取り組もう。 ・個人で表現を深める時間と、仲間との意見交流により表現の幅を広げる時間との切り替えを明確にして取り組もう。 ・自分の意図通りに制作が進まない時は、意欲的に質問を重ね、意見交流と鑑賞も積極的に生かそう。 ・作品、プリント類の提出期日厳守。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、身近な事柄と美術のつながりを考えよう。 ・テストは実技もありますので、範囲内の課題の練習を当日までに行い、資料と授業で習得したことを生かせるようにしよう。 ・美術館を鑑賞する時間を積極的に取り、ほんものの迫力にふれる。

学 校 名	学 年	教 科
四日市市立西陵中学校	2 学 年	保健体育（保健分野）

1 学習のねらい等

学習のねらい	個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していけるようにする。
使用教材	教科書：保健体育（大修館）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①健康・安全への関心・意欲・態度	自他の心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、進んで学習に取り組もうとする。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・ワークシートの記入，提出状況 ・定期テスト
②健康・安全についての思考・判断	自他の心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に考え、選択すべき行動を適切に判断することができる。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・ワークシートへの記述 ・定期テスト
③健康・安全についての知識・理解	健康・安全の意義を理解するとともに心身の機能の発達や心の健康、健康と環境、の防止、健康な生活と疾病の予防について、課題の解決傷害に役立つ基礎的な事項を理解し、その知識を身につけることができる。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・ワークシートへの記述 ・定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 期 ～ 3 学 期	2. 健康と環境 (1) 環境の変化への体の適応 (2) 快適で能率のよい環境 (3) 衛星的な飲料水の供給 (4) 空気の汚染と換気 (5) し尿とゴミの処理 (6) 私たちの生活と環境問題	① 健康と環境のかかわりについて、興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 ② 健康と環境について日常生活をふり返り、課題を見つけて解決の方法を考えることや、学習したことを日常の生活と関連付けて考えることができる。 ③ 人間の健康は環境と深くかかわっていることや、身体には環境に対する適応能力があることを理解することができる。また、心身の健康を保持増進するために、生活にともなって生じる廃棄物を適切に処理し、環境を衛星に保つ必要があることを理解することができる。
	3. けがの防止 (1) けがの原因と防止 (2) 交通事故によるけがの防止 (3) 犯罪被害の防止 (4) 自然災害への備えと避難 (5) 応急手当の基本 (6) けがの応急手当 (7) 心肺蘇生法	① 傷害の防止について興味・関心を持ち、自分の日常生活をふり返りながら意欲的に学ぼうとしている。 ② 傷害の防止について、自分の経験や地域の生活等をふり返り、課題を見つけて解決の方法を考えたり、学習したことを日常の生活と関連付けて考えたりすることができる。 ③ 自然災害や交通事故などによる傷害の発生要因や防止対策や、応急手当の意義と方法について、理解することができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から自分の周囲の環境に興味・関心を持って生活をし、学習内容を日常生活に生かすことができるようにしましょう。 ・傷害の防止のための安全な行動の仕方や心身の健康管理を心がけましょう。
------	---

学 校 名	学 年	教 科
四日市市立西陵中学校	2 学 年	保健体育（体育分野）

1 学習のねらい等

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ さまざまな運動の実践を通して、課題を解決するなどにより運動の楽しさや喜びを味わうとともに運動技能を高めることができる。 ○ さまざまな運動を適切に行うことによって、体の調子を整えるとともに、体力の向上を図る。 ○ 運動における競争や協同の経験を通して、公正な態度や、進んで規則を守り互いに協力して責任を果たせるようになる。また、健康・安全に留意して運動をすることができるようになる。
使用教材	教科書：保健体育（大修館） 補助教材：ステップアップ中学体育（大修館）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
① 運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動の特性や学び方に関心を持ち、自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。公正、協力、責任などの態度を身につけるとともに、健康・安全に留意して運動をしようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の学習活動への取り組み状況（態度、発言、行動、発表） ・学習カードの記述、提出状況
② 運動や健康・安全についての思考・判断	運動の特性に応じて、自己やチームの課題を見つけ、解決を目指して練習や活動の仕方を考え、工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の学習活動への取り組み状況（行動、声かけ、練習内容など） ・定期テスト
③ 運動の技能	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト
④ 運動や健康・安全についての知識・理解	運動の特性と学び方、ルールや審判、安全の確保の仕方を理解し、知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートへの記述 ・定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	A 体づくり運動 ○体ほぐしの運動 ○体力を高める運動 準備運動・集団行動 ・体力測定	①体づくり運動に興味・関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。 ②自己の体力や能力を知り、課題解決のための方法を考えて実践することができる。 ③準備運動や集団行動を正しく行うことができる。 ④運動の特性や学び方、準備運動の必要性や体力測定の方法を理解することができる。
	H 体育理論 ○運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全	
	E 球技（ベースボール型） ○ソフトボール	①ベースボール型スポーツに興味・関心を持ち、攻防の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ②自己やチームの能力に応じて課題を持ち、練習の工夫や作戦を立てることができる。 ③今持っているピッチングやバッティングの技能を生かして、ゲームができる。 ④ルールや競技方法を理解することができる。

	E 球技（ネット型） ○バレーボール ○バドミントン ○テニスボール ○卓球	①ネット型スポーツに興味・関心を持ち、楽しさや喜びを味わおうとしている。 ②自己の能力に応じて課題を持ち、練習を工夫することができる。 ③基本的なパスやサーブができる。 ④技能のポイントやルールを理解することができる
	D 水泳 ○クロール ○平泳ぎ ○背泳ぎ	①水泳に興味・関心を持ち、続けて長く泳いだり、速く泳いだりする楽しさや喜びを味わおうとしている。 ②自己の能力に応じて課題を持ち、練習を工夫することができる。 ③泳法に応じた技能で泳ぐことができる。 ④技能のポイントや、ルールを理解することができる。
2 学 期	C 陸上競技 ○短距離走・リレー ○走り高跳び ○長距離走	④陸上競技に興味・関心を持ち、全力を出して競争し、記録を向上させようとしている。 ⑤自己の能力に適した目標記録や課題を設定し、練習の仕方を選ぶことができる。 ⑥スタート方法や走法、跳躍フォームなど基本的な技能を身に付けることができる。 ④陸上競技の特性や学習の進め方、ルールや競技方法を理解することができる。
	B 器械運動 ○マット運動 ○跳び箱	①器械運動に興味・関心を持ち、日常では味わえない回転や逆さになる感覚や技ができるようになることに楽しみや喜びを味わおうとしている。 ②自己の能力に適した技を選び、課題を持って練習したり、技の完成度を確かめたりすることができる。 ③基本的な技は何度もくり返し、条件を変えてもできる。 ④練習の仕方や場所を工夫する練習方法を理解することができる。
	E 球技（ゴール型） ○サッカー ○バスケットボール ○ハンドボール	①個人の技能を高め、相手に応じた練習を工夫して、ゲームができる。 ②チームの中での動きを理解し、ゲームに対応できる練習することができる。 ③ルールを守り、お互いの安全に留意して活動し、技能向上のために協力し合って練習することができる。 ④ルールや競技方法を理解することができる。
3 学 期	G ダンス ○現代的リズムダンス ○創作ダンス ○フォークダンス	①ダンスに興味・関心を持ち、思いきり動く、感じを込めて動くなどのダンスの楽しさや喜びを味わおうとしている。 ②自己やグループのテーマに適した課題を持ち、踊って確かめたり、見せ合ったりして動き方を選んだり見つけたりすることができる。 ③イメージにふさわしい動きや体で感じたリズムを率直に表現したりできる。 ④ダンスは個人や集団で表現したり交流したりすることが楽しい運動であることや、学習の進め方、よい動き、鑑賞の仕方を理解することができる。
	F 剣道 ○剣道	①剣道の特性に興味・関心を持ち、進んで学習しようとしている。 ②武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。 ③正しい基本動作を用いて相手と打ったり受けたりして、練習をすることができる。 ④伝統的な考え方や、技の名称や体力の高め方などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学校	<ul style="list-style-type: none"> 十分に準備運動を行ない、怪我や事故のないように注意しましょう。 各授業において柔軟性を高め、体力を増強し能力を高めていくように、補強運動に積極的に取り組みましょう。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト発表時に発表された内容を中心に学習しましょう。 新しい単元に入ったら、図解中学体育で運動の内容やルールについて調べましょう。

学 校 名	学 年	教 科
四日市市立西陵中学校	2 学 年	技術・家庭（技術分野）

1 学習のねらい等

学習のねらい	<p>○身の回りで使われている材料の種類や特徴を知ることができる。</p> <p>○製作品の構想をまとめ、構想図（キャビネット図、等角図）をかくことができるようになる。</p> <p>○物を作るときに必要な道具や機械の名称、仕組み、使用法を知ることができる。</p> <p>○材料と加工に関する技術について、多様な側面から評価することができる。</p>
使用教材	<p>教科書「新編 新しい技術・家庭 技術分野」（東京書籍）</p> <p>「技術・家庭ノート 技術分野」（正進社）</p> <p>木材加工教材</p>

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①生活や技術への関心・意欲・態度	製作・実習について関心をもち、真面目な態度で授業や実習に取り組んでいるか。	学習活動の観察（発言・製作のようす） ノートの点検 定期テスト
②生活を工夫し創造する能力	製作・実習について、課題を見つけ、その解決をめざしていろいろな方法を自分なりに工夫しているか。	学習活動の観察（発言・製作のようす） ノートの点検 定期テスト
③生活の技能	製作・実習に必要な基礎的な技術を身につけているか。	製作の観察 ノートの点検 定期テスト
④生活や技術についての知識・理解	材料の特徴とその加工法を理解しているか。 製作図の必要性やかき方を理解しているか。 工具や材料の各部名称を知っているか。	学習活動の観察（発言・製作のようす） ノートの点検 定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
2 学 年 1 学 期	<p>【材料と加工に関する技術】</p> <p>1. 材料と加工法 材料と加工の技術について知ろう</p> <p>材料の基本的な性質を調べよう</p> <p>製品を丈夫にする工夫を知ろう</p> <p>材料に適した加工法を知ろう</p>	<p>①木材、金属およびプラスチックなどの特徴と利用方法についての知識を身につけている。</p> <p>②材料に適した加工法の知識を身につけている。</p>
	<p>2. 製作品の設計・製作 生活に役立つ製作品を設計しよう</p> <p>制作の作業手順を考えて製作しよう</p> <p>完成した製作品を評価しよう</p>	<p>①省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。</p> <p>②製作における製作図の必要性についての知識を身につけている。</p> <p>③等角図、キャビネット図および第三角法などの見方や書き方について理解し、かき表すことができ</p>

2 学年 2 学期		<p>る。</p> <p>④製作に必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。</p> <p>⑤製作図を基にして、材料取り、部品加工、組み立て・接合、仕上げができる。</p> <p>⑥新しい発想を生み出し活用しようとしている。</p>
	3. 材料と加工の技術の評価・活用 持続可能な社会のための技術について考えよう	<p>①材料と加工に関する技術の適切な評価・活用について考えている。</p> <p>②材料と加工に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的・環境的および経済的側面などから比較・検討しようとしている。</p> <p>③材料と加工に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。</p>

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。 ・先生の話を中心して聞こう。 ・黒板に書いたことや自分で気づいたことをノートにまとめよう。 ・製作の際には、安全に注意し、手順を間違えないように、協力して行えるようにしよう。 ・ノートなどの提出物は期日を守ろう。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で習ったことは早めに復習しよう。 ・解答に至るまでの考え方をたいせつにした復習をしよう。 ・テストで間違えた問題は復習しておこう。

学 校 名	学 年	教 科
四日市市立西陵中学校	2 学 年	技術・家庭（家庭分野）

1. 学習のねらい等

学習のねらい	○基礎縫いの技術を習得する。 ○栄養及び調理に関する知識・技能技術の応用を習得する。
使用教材	教科書：『新しい技術・家庭（家庭分野）』（東京書籍） 補助教材：ビデオ, オリジナルワークシート

2. 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①生活や技術への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着用，選択，手入れについて関心を持ち，衣生活をよりよくしようとしている。 ・食品の特徴に関心を持ち，意欲的に調理実習の活動に取り組み，食生活をよりよくしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中，作業中の課題への取り組み，発表の様子 ・プリント・作品の提出状況 ・準備物のチェック ・自己評価表及び相互評価表
②生活を工夫し創 造する能力	<ul style="list-style-type: none"> ・作品のデザインを自分なりに工夫し，よりよいものを作り上げようとしている。 ・製作，実習の過程において製作計画や方法について自分なりに工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに見られる創意工夫 ・提出物に見られる顕著な様子 ・作品上のデザインの工夫 ・実習における活動の工夫（自己評価表・自己チェック表）
③生活の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の手入れに関する基礎的な技術として，並縫い・まつり縫い・玉止め・玉結び・ボタン・スナップ付け・ミシン縫い・返し縫いができる。 ・食品の選択，調理に関して基本的な技術を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の完成度 ・実技テスト ・実習中の活動状況 ・自己評価表・自己チェック表 ・レポート，ワークシートの出来
④生活や技術に ついての 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の基本的な着用，選択，手入れの方法について理解している。 ・食品の選択と簡単な日常食の調理の要点について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト，小テスト ・レポート，ワークシートの内容

3. 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
2・3学期	<p>< C 衣生活・住生活と自立 ></p> <p>○衣生活と自立</p> <p>1 着る目的を考えよう</p> <p>2 衣服の手入れをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修 <p>3 生活を豊かにするための工夫をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎縫いを利用してペンケース作成(並縫い・まつり縫い・玉止め・玉結び・ボタン・スナップ付け ・ミシン縫い・返し縫い・) 	<p>①衣服と社会生活とのかかわり, 目的に応じた衣服の着方に着目し, 意欲的に学ぼうとしている。</p> <p>②衣服の洗濯や補修の手順や方法を工夫できる。</p> <p>③補修の目的と布地に適した方法について理解している。</p> <p>④手縫いやミシン縫い, アイロンなどの基礎・基本的な技術が活用できる。</p>
	<p>< B 食生活と自立 ></p> <p>○献立作りと食品の選択</p> <p>1 食品の選び方を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品を選択する観点について知る ・食品の表示と保存方法を知る <p>2 日常食の調理をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理の計画 ・肉の調理 ・魚の調理 ・バランスのよい食事を作ろう <p>3 地域の食文化を知ろう</p>	<p>①品質表示の意味や保存方法を知り, 安全と衛生に留意することができる。</p> <p>②食品の表示や保存について興味をもち, 調理実習に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>③材料の扱いや切り方, 調味など学んだ知識や技術を活用し, 工夫した調理実習をすることができる。</p> <p>④地域の食文化の意義について理解している。</p>

4. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト前の復習のために, よくわかるように工夫してまとめよう。 ・授業での忘れ物は, 自分が困るだけでなく, 周りの子にも迷惑をかけることになりま す。忘れ物のないように気をつけましょう。 ・プリントは第2の教科書になります。授業中の要点や板書をメモし, すべてファイルにとじてしっかり保管しましょう。 <p>～小集団活動を通して～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つの仕事を協力し合って行う協働性を身につけよう。 ・分業体制役割体系において協力し合う協調性を身につけよう。 ・小集団の活動から個々の能力を引き出し合おう。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト前にはワークシートを見直そう。 ・実技テストに向けて, 家で何回か練習しておこう。 ・実習で学んだことを自宅でもチャレンジし, 技術を定着させよう。

学 校 名	学 年	教 科
四日市市立西陵中学校	2 学 年	英 語

1 学習のねらい等

学習のねらい	<p>○外国語を通じて，言語や文化に対する理解を深めましょう。</p> <p>○外国語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけましょう。</p> <p>○聞くこと・話すこと・読むこと・書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養いましょう。</p>
使用教材	<p>教科書：NEW CROWN(三省堂)</p> <p>補助教材：「新英語のワーク 2」(明治図書)</p> <p>「英語ワークノート前/後」(新学社)</p>

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み、提出物の点検 ・プリント・ノート等への書き込み ・ペアワーク，グループワークの取り組み
②外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして，自分の考えなどを表現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・プリント・ノート等への書き込み ・Q&A，スピーチなどパフォーマンステスト ・定期テスト
③外国語理解の能力	外国語を聞いたり，読んだりして，話し手や聞き手の意向などを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・プリント・ノート等への書き込み ・リスニング・定期テスト・暗唱テスト
④言語や文化についての知識・理解	外国語の学習を通して，言語やその運用についての知識を身に付けているとともに，その背景にある文化などを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントへの書き込み ・定期テストや単語テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例

<p>1 学 期</p>	<p>◆Lesson 1 Aloha (過去形 一般動詞) Amy played basketball last Sunday. <Let' s Talk.1 道案内をしよう > How can I get to Ikuta Shrine?</p> <p>◆Lesson 2 Peter Rabbit My father was a baseball player. (過去形 be動詞) I was watching TV. (過去進行形) When~, I was watching TV. (接続詞) <Let' s Talk 2 もし雨がふったら> If it' s clear, let' s play baseball.</p> <p>◆Lesson 3 The Ogasawara Islands It will be hot tomorrow. (未来を表す表現) I' m going to visit my friend tomorrow. (未来を表す表現) I think (that) (接続詞) <Let' s Talk 3 避難訓練> We must protect ourselves. (助動詞must)</p>	<p>① 「be動詞の過去形was were」 「be going to」 「接続詞 that if when」 を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>② 「be動詞の過去形was were」 「be going to」 「接続詞 that if when because」 「There is There areの構文」 「動名詞」 を使った英文を話したり, 書いたりできる。</p> <p>③ 「be動詞の過去形was were」 「be going to」 「接続詞 that if when because」 「There is There areの構文」 「動名詞」 を使った英文を読んだり聞いたりできる。</p> <p>④ 「be動詞の過去形was were」 「be going to」 「接続詞 that if when because」 「There is There areの構文」 「動名詞」 を使った英文の構造を理解し, 説明することができる。</p>
<p>2 学 期</p>	<p>◆Lesson 4 Enjoy Sushi There is a big park in this town. I like playing soccer. (動名詞) <Let' s Talk 4 宿題は何? > We have to read about an important person. (~しなければいけない)</p> <p>◆Lesson 5 Uluru I will give Koji a book. (SV00目的語) Miki looks happy. (SVC) <Let' s Talk 5 もっといただけますか。 > May I have more? (許可をもとめる表現)</p> <p>◆Lesson 6 My Dream wants to read~ (不定詞 名詞用法) the park to play volleyball. (不定詞 副詞用法) something to eat. (不定詞 形容詞用法) <Let' s Talk 6 電話をしよう > Will you give her a message, please? (丁寧に依頼をする表現)</p>	<p>① 「There is ~/There are~の構文」 「動名詞」 「助動詞 may/must/will」 「have to」 「目的語に動名詞をとる動詞」 「to不定詞」 を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>② 「There is ~/There are~の構文」 「助動詞 may must will」 「have to」 「目的語に動名詞をとる動詞」 「to不定詞」 を使った英文を話したり, 書いたりできる。</p> <p>③ 「There is ~/There are~の構文」 「助動詞 may must will」 「have to」 「目的語に動名詞をとる動詞」 「to不定詞」 「を使った英文を読んだり聞いたりできる。</p> <p>④ 「There is ~/There are~の構文」 「助動詞 may must will」 「have to」 「目的語に動名詞をとる動詞」 「to不定詞」 を使った英文の構造を理解し, 説明することができる。</p>

3 学 期	<p>◆Lesson 7 Presentations younger than/ the youngest (比較級・最上級)more popular than/ the most popular as big as(同格) /run faster than</p> <p>◆Lesson 8 India, My country The room is cleaned every day. (受身形) <Let' s Talk 7 買い物をしよう> This shirt is too large. (苦情を言う)</p> <p>◆Let' s Read 2</p>	<p>①「比較級・最上級・同格」「受け身形」を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>②「比較級・最上級・同格」「受け身形」を使った英文を話したり，書いたりできる。</p> <p>③「比較級・最上級・同格」「受け身形」を使った英文を読んだり聞いたりできる。</p> <p>④「比較級・最上級・同格」「受け身形」を使った英文の構造を理解し，説明することができる。</p>
-------------	--	--

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	<p>2年生では，1年生の学習を基礎として，英語が使える場面をさらに広げます。 そのために，</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語をよく聞こう！ 2. しっかりと声に出して，聞いた英語をまねしてみよう！ 3. 単語や文を，発音しながら書いてみよう！ 4. 間違いを気にせず，とにかく英語を使ってみよう！ 5. 近くの人やALTと積極的に意見を交換して，仲良く活動しよう！
	家 庭	<p>[予 習] 本文写し・意味調べ（品詞も書く）</p> <p>[復 習] ・単語の復習 ・教科書の暗記 ・学校で習った重要文や本文をノート練習ページに何度も読みながら書く</p> <p>[その他] ・英語の歌を聞く ・英検に挑戦する ・テレビやラジオの英語番組や映画のセリフを見聞きする</p>